



平成28年5月20日

各位

会社名 オンコリスバイオフーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
(コード番号：4588)
問合せ先 常務取締役 六反田 靖
管理担当
(TEL. 03-5472-1578)

OBP-301(テロメライシン®)の中国ライセンスに関する 基本合意書締結のお知らせ

当社は、平成28年5月20日開催の取締役会において、江蘇恒瑞医薬股份有限公司（所在地：中華人民共和国江蘇省 英語名：Jiangsu Hengrui Medicine Co., Ltd. 以下「Hengrui（ハンルイ）社」）との間で、OBP-301(テロメライシン®)の中華人民共和国における導出を前提とした基本合意書を締結することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

Hengrui社は、原薬から製剤までを自社一貫製造で行う医薬品企業です。特に抗がん剤領域の売上構成が40%を超えるスペシャリティファーマとして認知されており、がん治療薬販売では直近の過去10年間、中国国内トップシェアを記録し続けています。また、同社の研究開発部門は、前臨床から承認申請・上市の段階まで網羅的に豊富なパイプラインを有しており、欧米を含めた全世界でグローバルに活動を展開しています。同社は平成26年にVEGFR-2チロシンキナーゼ阻害薬アパチニブ（apatinib）を中国国内で承認取得・上市したほか、平成27年9月には自社開発の抗PD-1抗体SHR-1210を、抗がん剤領域の低分子医薬品創薬・開発に特化した米バイオ医薬品企業Incyte Corporationへ約8億ドルで導出するという実績を有しています。

当社は、本基本合意書の締結により、平成28年11月末までを目処として、当社とHengrui社との間で、ライセンス契約を締結することを目指しております。なお、本件による本年度業績予想への影響は、Hengrui社とのライセンス契約締結以降に開示させて頂く予定です。

(ご参考)

【Hengrui社について：会社概要】

社名：江蘇恒瑞医薬股份有限公司 (Jiangsu Hengrui Medicine Co., Ltd.)

本社所在地：江蘇省連雲港市経済技術開発区昆山路7号

代表者：会長 孫 飄揚 (Chairman & Director, Dr. Piaoyang Sun)

上場先：上海証券取引所 (証券コード：600276)

創業：1970年

資本金：1,360,220,000人民元 (約230億円)

事業内容：がん・外科・感染症領域の医薬品の研究開発及び製造販売等

従業員数：10,191名（2015年12月末時点）

2015年度実績：

売上高：93億1600万人民元（1795億円）

営業利益：25億5890万人民元（493億円）

純利益：21億7160万人民元（418億円）

（2015年12月31日時点 1元＝19.27円として換算）

【OBP-301（テロメライシン®）について】

OBP-301（テロメライシン®）はヒトアデノウイルス5型のE1領域にテロメラーゼプロモーター（hTERT）を組み込んだ制限増殖型の腫瘍溶解ウイルスです。テロメラーゼ活性が上昇している癌細胞の中で特異的に増殖し、癌細胞を溶解させますが、正常細胞中での増殖能力は極めて弱く、細胞毒性を示さないことが特徴です。臨床では、主に腫瘍部位への局所注入による治療を行い、テロメライシン®の持つ癌特異性を発揮し、更に腫瘍溶解作用に基づいて癌特異的免疫作用を活性化することによって、その作用を増強させることが期待されております。当社は、食道癌患者を対象に、放射線治療とテロメライシン®の併用療法の安全性と探索的有効性を評価する臨床研究を、2013年11月より岡山大学にて実施しています。また、標準治療が無効となった肝細胞癌患者を対象に、テロメライシン®の安全性と薬物動態、及び探索的有効性を評価することを目的としたPhase I/II試験を、2014年11月より台湾・韓国にてMedigen Biotechnology Corp.（所在地：台湾 代表：Dr. Stanley Chang, Chairman/CEO）と実施しており、2016年3月に最大投与量の投与を完了しております。

以上